

## 令和4年度 鶴見総合高等学校 不祥事ゼロプログラムの検証等

## ○ 課題・目標別実施結果

課 題	目 標	実施結果と目標の達成状況
法令遵守意識の向上（法令の遵守（高い倫理感の保持及びわいせつ事案をはじめとする不祥事の根絶）、服務規律の徹底）	教育公務員としての自覚を持ち、公務・公務外を問わず県民から信頼される行動をとる。	○各種通知・記者発表資料を活用した研修を随時実施し、情報の共有と職員の意識の向上を図った。 ○教職員の状況を把握する機会を増やすため、校長等による個別面談を複数回実施した。 ○不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した自己点検（服務規律の遵守）を行い、職員の意識を高め、法令遵守意識の強化につなげることができた。
職場のハラスメント（パワハラ、セクハラ、マタハラ等）の防止	職場での各種ハラスメントの発生を未然に防止する。	○日常の業務の中で、ハラスメント行為の未然防止につながる相互注意を行うことができた。 ○不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した自己点検（職場のハラスメントの防止）を行い、各種ハラスメントを再確認し、人権意識の向上を図ることができた。
児童・生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止	わいせつや、セクハラ行為の発生を未然に防止する。	○資料を活用した研修を実施し、生徒とのSNS等の利用禁止を徹底することができた。 ○不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した自己点検（STOP! ザ・セクハラ/わいせつな行為）を行い、不祥事を自分事としてとらえ、自身の言動を振り返るとともに、組織として未然防止の雰囲気を作ることができた。
体罰、不適切な指導の防止	日常の教育活動において、生徒の人権に十分配慮した指導を行う。	○人権に関する研修を実施し、生徒の人権に配慮した支援と指導を行うことができた。 ○不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した自己点検（体罰、不適切な指導の防止）を行い、自身の行動を振り返るとともに、人権に十分配慮した指導を行うことができた。
入学者選抜、成績処理及び進路関係書類の作成及び取扱いに係る事故防止	入学者選抜業務、履修指導・登録・成績処理、指導要録等、学務管理上の業務及び調査書等のミスを未然に防止する。	○入学者選抜業務に当たって、各種マニュアルに記載内容を厳守した適切な事務処理と複数人で確認を十分に行うなど、チェック機能の更なる強化を図った。 ○不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した自己点検（定期試験・成績処理の事故防止）（入学者選抜の事故防止）を行い、資料にあるヒヤリ・ハット事例を共有し、事故の未然防止につなげることができた。

個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の流出を未然に防止する。	○資料を活用した研修を実施することで、個人情報の対策重要度の理解と、校務用PCの適切な運用ができるようになった。 ○不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した自己点検（児童・生徒の個人情報の取扱い）（個人情報の適切な取扱い、情報セキュリティ）を行い、個人情報保護に対する意識の向上を図ることができた。
交通事故防止、酒酔い・酒気帯び運転防止、交通法規の遵守	教育公務員として、交通法規を遵守し、県民から信頼される行動をとる。	○不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した自己点検（飲酒運転等の根絶に向けて）を行い、交通安全に対する職員の意識の向上を図ることができた。
会計事務等の適正執行の確保	私費会計事務処理の周知を図り、適正な執行を行う。	○年度初めに、私費会計事務処理の説明会を実施し、ルールの確認と周知を図ることができた。 ○不祥事防止職員啓発・点検資料を活用した自己点検（適切な私費会計の取扱い）を行い、適正な執行を行うことができた。

○ 令和4年度不祥事ゼロプログラム全体の達成状況と令和5年度に取り組むべき課題  
(学校長意見)

年間を通して計画的に不祥事ゼロプログラムの課題項目に取り組み、職員の事故防止の意識を高めることができた。

令和4年度も、生徒に対するわいせつ・セクハラ行為の防止、職場でのハラスメントの防止、財務事務等の適正執行、個人情報等の管理を重点課題として、不祥事防止会議及び事故不祥事防止研修を計画的に実施する。また、日常的に様々な場面において、情報提供や相互に声かけをするなどして、職員の事故防止の啓発を行い、事故・不祥事の未然防止に取り組む。